

会 議 録

1 会議名

令和元年度第3回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

（1）令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について

ア．全体審査

（2）安塚区地域協議会としての審議内容について

2) 報 告（公開）

なし

3) その他（公開）

3 開催日時

令和元年5月23日（木）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田嘉久、石田ひとみ、數井憲一、國保信夫、小松光代、中島勝義

長谷川直樹、秦克博、松苗正二、松野等、山岸重正

・事務局：安塚区総合事務所 大橋次長、石川市民生活・福祉グループ長

（併教育・文化グループ長）、村松班長、仮澤主事

8 発言の内容（要旨）

【大橋次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：数井憲一会長

【数井憲一会長】

- ・挨拶

協議事項（１）令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について説明を事務局に求める。

【仮澤主事】

令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について、資料No. 1に沿って説明。

【数井憲一会長】

何か質問等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは、9つの提案事業について、1番から順に採択の可否、補助金額の決定、付帯意見の有無について協議をしていきたいと思う。

まず、安塚トリットボール普及会の提案事業、安塚区高齢者いきいき支援事業について協議する。平均点が18.2点、事業費33万6千円に対して、補助希望額が33万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

続いて、安塚スキークラブの提案事業、安塚jrアルペンスキークラブ育成事業について協議する。平均点が16.8点、事業費49万3千円に対して、補助希望額が49万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

続いて、安塚商工会の提案事業、雪のふるさと安塚PR事業について協議する。平均点が18.3点、事業費90万8千円に対して、補助希望額が80万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

続いて、おぐろ町内会の提案事業、自主防災資材の整備事業について協議する。平均点が17.8点、事業費83万6千円に対して、補助希望額が83万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

続いて、円平坊自治会の提案事業、円平坊防災意識向上事業について協議する。平均点が17.3点、事業費38万円に対して、補助希望額が38万円である。採択の可否について、採択でよいか。

【長谷川直樹委員】

事務局に伺いたいですが、消防団でさえも40Aのホースは使用していないのに自治会の自主防災の事業として40Aのホースを整備するのを認めるのはいかがなものか。また、プレゼンで説明した方は以前安塚区総合事務所に務めていた方である。そういった立場を利用して円平坊自治会の提案事業を町内会も巻き込んで普及していくという趣旨の説明をするのを私はいかがなものかと感じる。この事業を認めてしまえば、今後地域活動支援事業を活用して消防ホースを整備する団体が増えるのではないか。災害を想定した訓練を実施するのであれば、より実践性の高い発電機等を活用した訓練を実施した方がよいのではないか。また、全体に言えることであるが、見積書に税抜価格で記載されて

いるものが散見された。地域活動支援事業の説明会の際に、添付する見積書は全て税込価格を記載したものに統一するといった説明をするべきではないか。

【大橋次長】

市で見積合せをする際は、消費税抜きの価格で行っている。委員の皆さんに送付した提案書の写しは、税抜価格のものを見た際に分かりやすいよう別途税込価格を記載して送付している。

【長谷川直樹委員】

始めから税込価格の見積書を添付してもらえればよいのではないか。市で行う見積合わせは税込の見積書ではないのか。

【大橋次長】

市で行う見積合せは税抜のもので行っている。長谷川委員の見積書は税込のものとするという意見については、今年度の地域活動支援事業の反省・課題点として後日協議いただければと思う。

円平坊自治会の提案事業にある消防ホースについては、自治会内で初期消火に対応するという目的で協議した上で提案されたのだと思うので、ホースの規格について事務局内で良いか悪いかを決めることはできない。

【長谷川直樹委員】

火災が発生した場合、集落住民の方が消火対応するのは早いと思うが、後に消防団が到着した際に、40Aのものを取り外して65Aのホースを付ける作業が必要になる。そもそも40Aで初期消火は無理があるのではないか。消防団に入っている方にお聞きしたいが、40Aのホースは消火栓格納庫に入っているのか。

【秦克博委員】

私が所属している部では40Aのホースはないし、使用したこともない。

【數井憲一会長】

消費税の部分については、今年度の課題点として今後協議いただければよいと思うし、ホースの規格については、消火の際にこういった対応になるか消防団との兼ね合い等を今後集落内で協議しながら進めていただければと思う。

【長谷川直樹委員】

この事業を認めると前例となって今後他の団体もホースを提案することになる。

【山岸重正副会長】

違う話で申し訳ないが、山火事の際は40Aの方が使い勝手がよいのか。

【長谷川直樹委員】

山火事の場合、ホースが延長できる場所であればよいが、大体はジェットシューターという背負いながら消火できるタイプのものを使用する。私が言いたいのは、自主防災のレベルで消火栓を使って消火する必要があるのかということである。自主防災でホースを整備する必要があるのか疑問である。

【國保信夫委員】

プレゼンテーションでも説明があったが、初期消火レベルで整備するというのであるし、訓練に使用するだけでも住民の不安は解消されるものではないか。

【長谷川直樹委員】

消火栓を使用するのは初期消火だと私は思わない。

【松野等委員】

地元で十分に協議した上での提案であるから、認めてあげてもよいのではないか。

火災が発生した際に消防の方が来るまでの間、集落住民だけで消火活動を行うのであるから、私は広い意味で初期消火であると思う。

【中島勝義委員】

円平坊自治会に消防団員は何人いるのか。

【山岸重正副会長】

いたとしても昼間は仕事で火災が発生した際に対応できないのではないか。そこで高齢者だけでも初期消火ができるようにするための提案なのではないか。

【長谷川直樹委員】

40Aだとしても、持ち運ぶのであればかなりの重さになると思うし、労力が必要になるのではないか。ここで認めてしまえば、他に同じような提案が出てきた際に認めざるを得ないことになってしまう。本当に整備する必要がある事業なのか。

【數井憲一会長】

本来であれば消防設備については市に整備していただきたいところであるが、各町内会で整備することになり地域活動支援事業でもこういった提案が出てきている。整備をし、訓練を実施することで地域住民に安心を与えることができるのであれば、認めてあ

げてもよいのではないか。

【池田嘉久委員】

提案される前に集落内で検討を重ねてきているのだと思うし、訓練をすることで住民の安全・安心を与えることができるのであれば認めてあげてもよいのではないか。

【長谷川直樹委員】

ホースや管鎗まで認めてしまえば、今後同じような提案が多く出てくる。もう少し真剣に考える必要があるのではないか。何でもよいというわけではなく、ある程度の線引きは必要なのではないか。

【數井憲一会長】

長谷川委員のおっしゃることも分かる。しかし、初期消火という目的のため、地域の実情にあった備品を整備しようと集落内で協議した上での提案である。認めてもよいと思うが、他に意見等あるか。

賛成の方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

挙手多数のため、採択とする。補助金額については、いかがか。

(「補助希望金額全額でよい」との声あり)

付帯意見については、いかがか。

【長谷川直樹委員】

ホースを使用した防災訓練は毎年継続して実施いただくようお願いしたい。

【數井憲一会長】

それでは付帯意見とする。別件であるが、見積書には消防ホース等に未検品とある。安全性を考えると、検品したものの方がよいと思うがそれで問題ないか別途確認をお願いしたい。

他に意見等あるか。

(「なし」の声あり)

続いて、和田自治会の提案事業、和田自治会防災用具格納庫整備支援事業について協議する。平均点が17点、事業費82万円に対して、補助希望額が82万円である。採択の可否について、採択でよいか。

(「はい」の声あり)

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見は、いかがか。

【松苗正二委員】

防災格納庫であるが、床面積が10㎡を超えると建築物となり届出が必要になる。各種申請等が必要かどうか十分確認をお願いしたい。

また、設置についてもブロックの上にそのまま置くのではなく、アンカー工事で緊結する必要があるか等確認をお願いしたい。

【數井憲一会長】

それでは、付帯意見とし、各種申請等が必要かどうかも含めて確認・指導を行っていただきたい。

他に意見等あるか。

（「なし」の声あり）

続いて、安塚町内会の提案事業、安塚町内会にこにこ事業について協議する。平均点が17.3点、事業費26万5千円に対して、補助希望額が24万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

【松野等委員】

消耗品の部分については、減額してもよいのではないか。

【山岸重正副会長】

にこにこサロンはNPOから補助が出ているのではなかったか。

【小松光代委員】

過去にNPOから補助が出ていた時もあったが、今は出ていないのではないか。

【國保信夫委員】

にこにこサロンは各集落で予算を取っているのではないのか。

【數井憲一会長】

今は市から補助金が出ているのか。

【仮澤主事】

にこにこサロンは、社会福祉協議会から補助が出ており、市からは出ていない。

また、社会福祉協議会から出ている補助の部分は安塚町内会の自主財源として提案しており、補助対象経費とは重複していない。

【數井憲一会長】

消耗品について意見が出ているがいかがか。

【長谷川直樹委員】

高齢者の生きがいをづくりのための事業であるから、認めてあげてよいのではないか。

【松野等委員】

消耗品は原則対象となるのであったか。

【數井憲一会長】

活動に伴うものとして対象となるのではないか。

【國保信夫委員】

今回提案をしていない他の集落はどうなるのか。

【長谷川直樹委員】

今後集落で話しあってどうするのか決めればよいのではないか。

【數井憲一会長】

色々意見がでたが、補助金額については全額採択でよいか。

（「はい」の声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

続いて、安塚小学校PTAの提案事業、安塚雪んこのびのび育成事業について協議する。平均点が17.5点、事業費33万円5千円に対して、補助希望額が33万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

付帯意見については、いかがか。

【石田ひとみ委員】

役員が交代する際に、購入した備品の引き継ぎはしっかりとやっていただきたい。

【數井憲一会長】

備品の管理を徹底するということでよいか。

（「はい」の声あり）

それでは付帯意見とする。

他に意見等あるか。

（「なし」の声あり）

続いて、山のうへの雪まつり実行委員会の提案事業、山のうへの雪まつり事業について協議する。平均点が15.1点、事業費363万円に対して、補助希望額が100万円である。採択の可否について、採択でよいか。

（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

【松野等委員】

自主財源の部分に反省会費が含まれている。自主財源の部分なので問題はないが、全体的に見ると不適切ではないかと思う。満額採択にはできないのではないか。

【數井憲一会長】

今ほどの意見についてどうか。

【國保信夫委員】

松野委員の意見に賛成である。減額するべきである。

【中島勝義委員】

反省会費は10万円であるが、10万円減額するのか。

【小松光代委員】

反省会費は補助経費には含まれておらず、自主財源の中に入っているので問題ないのではないか。

【松野等委員】

補助金の部分に含まれることのないよう、提案団体に指導をしてほしい。

【數井憲一会長】

反省会費はやはり補助の対象にはならないのか。

【大橋次長】

提案書にもあるとおり、反省会費は自主財源から支出することになっている。実績報

告の際に領収書等を添付いただくので、補助経費と混合することはない。

【數井憲一会長】

色々な意見があったが、補助金額については2万円減額の98万円でよいか。

（「はい」との声あり）

付帯意見は、付けないこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

【秦克博委員】

当日悪天候で事業が実施できない場合等の補助金はどうなるのか。

【長谷川直樹委員】

天候や災害等が原因であれば仕方がないのではないかと。たとえば事業が中止になったとしてもそれまでに要した経費は対象になるのではないかと。

【數井憲一会長】

先日のプレゼンテーションでも提案団体から地元を盛り上げるために頑張るという話があった。意を汲んで応援してあげたいと思う。

他に意見等あるか。

（「なし」の声あり）

以上で全9団体の協議が終了したので、事務局から今までの協議結果についてのまとめの報告をお願いします。

【仮澤主事】

安塚トリットボール普及会は、補助額33万円で付帯意見なし。

安塚スキークラブは、補助額49万円で付帯意見なし。

安塚商工会は、補助額80万円で付帯意見なし。

おぐろ町内会は、補助額83万円で付帯意見なし。

円平坊自治会は、補助額38万円で、付帯意見については、ホースを活用した防災訓練を毎年実施すること。

和田自治会は、補助額82万円で、付帯意見については、設置に必要な手続き等を確認し、必要に応じて申請書類を提出すること。

安塚町内会は、補助額24万円で、付帯意見なし。

安塚小学校PTAは、補助額33万円で、付帯意見については、備品の維持管理につ

いて徹底すること。

山のうへの雪まつり実行委員会は、補助額98万円で、付帯意見なし。

【數井憲一会長】

今ほどの内容で意見等あるか。

（「なし」の声あり）

以上で、協議事項（1）令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について終了するが、何か意見等あるか。

（「なし」の声あり）

続いて、協議事項（2）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提出があったか事務局に確認する。

【大橋次長】

事前の提出はない。

【數井憲一会長】

この場でもよいが、委員の提案等を求める。

（「なし」の声あり）

続いて、4の報告事項について何かあるか。

（「なし」の声あり）

続いて、5のその他だが、何か意見等あるか。

【仮澤主事】

次期総合公共交通計画の策定について説明をさせていただく。

昨年度、公共交通の次期計画の策定を進めていく旨説明させていただいたところであるが、まずは地域の現状を把握するために昨年度は各路線への乗降調査やバス利用者、バス運転手への聞き取り等を行ってきた。

聴取した意見を基に、安塚区の公共交通の再編案について検討しているところであり、6月に予定している公共交通懇話会や地域懇談会で再編案について説明し、意見聴取を図っていく予定である。地域協議会においても、次回の会議で資料と併せて説明させていただく予定である。時間の関係上簡単ではあるが、今後の予定ということで説明をさせていただいた。

【數井憲一会長】

意見等あるか。

（「なし」の声あり）

他に意見等あるか。

（「なし」の声あり）

- ・ 次回の地域協議会開催日（6月25日）を確認
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。